

◆過去の報道記事 (2)

2015年(平成27年) 西日本新聞

被害者3%は男性

強姦罪に規定なく苦悩

性暴力の被害者は女性だ
強姦罪は加害者を男性、被害者を女性と限定しており、男性被害者は「誰にも相談できずに苦しみを抱える人が多い」と訴える。

九州大の内田博文名誉教授(刑法学)によると、男性が被害者だった強姦罪は加害者を男性、被害者を女性と限定しており、男性被害者は「誰にも相談できずに苦しみを抱える人が多い」と訴える。

九州大の内田博文名誉教授(刑法学)によると、男性が被害者だった強姦罪は加害者を男性、被害者を女性と限定しており、男性被害者は「誰にも相談できずに苦しみを抱える人が多い」と訴える。

強姦罪をめぐり男性も被害者になることを指摘する男性被害者について「心的外傷後ストレス障害(P.T.S.D.)などのダメージを受けるとは女性と変わりが無い」としている。

50代の女野次郎さんは20代のとき、知人の女性から何度も性行為を強いられた経験から被害を受け、精神科医からも被害を受けたという。40歳のころ、苦しんだ記憶がよみがえり、P.T.S.D.になった。

当時、被害者の相談電話に助けを求めたが「男性のことばかりじゃない」と言われ、男性被害者に限られた書籍もほぼ無かった。「50代だに『男性が性暴力に遭った』という社会の偏見がある」と訴える。

女野さんは2001年、男性被害者をテーマにしたホームページを開発。他の男性被害者とともに自助グループ「RANKA(ランカ)」を立ち上げて年に1度、関東で被害者同士が体験を語り合う交流会を開いている。「男性の被害を理解してくれる人が少しでも増えてほしい」と話す。

国は今秋にも刑法改正の検討に入る。内田名誉教授は「心と体の性が一致しないトランスジェンダーなどの性のある方は多様化している。法の下平等に生き、被害者に寄り添う改正が望まれる」と強調した。(二瀬圭司)

あなたに悪くない。20代に心臓が激しく鼓動し、涙が止まらなくなる。すぐカウンスラーのレイコさん、職場にいられなくなつた。初めて言ってもらえた。ユミさんは職場の上司と酒を飲んだ後、強引にホテルに連れ込まれた。相手を怒らせれば、左遷されかねない。それでも選んでこられた。それも抵抗し、

「私が悪い」招く神話

無理解

「神話」は司法界にも存在する、と指摘する専門家もいる。

千葉市の駅前で2006年、ついで来ない「殺す」と男に脅された女性11当時(18)が、ビルの外階段で強姦されたと訴えた事件。最高裁は11年に、逆転無罪判決を言い渡した。

「叫んだり、助けを呼ぶ」

「無理解が彼女を追い詰めた」

「私も悪くない」「女性は手」

強姦神話など非科学的な理をあげて供述の信用性を

検察庁が出した結論は「よさにも見える。(久知邦)

面識のない加害者は1割止まり内閣府が2014年度に行った「男女間における暴力に関する調査」(約3500人の男女が回答)によると、女性の15人に1人が「無理やり性交されたことがある」と答えた。加害者は、元交際相手や職場関係者などが46.2%、配偶者や元配偶者が19.7%、親族や親戚が8.5%などで、面識のない人は11.1%にとどまった。「(被害後に)誰にも相談しなかった」と答えたのは7割近くに上った。

店員らは深夜に店内で20代女性に乱暴し、この女性をさらにホテルに連れて行って性暴力を加えた疑いがあつた。

不審！？ 怪血を吐きださない？ 何で？！

もうわけわからん、こういう事件こそ、是非お話ししてほしい。

「無理解」は深夜に店内で20代女性に乱暴し、この女性をさらにホテルに連れて行って性暴力を加えた疑いがあつた。

検察庁が出した結論は「よさにも見える。(久知邦)

「無理解」は深夜に店内で20代女性に乱暴し、この女性をさらにホテルに連れて行って性暴力を加えた疑いがあつた。

検察庁が出した結論は「よさにも見える。(久知邦)

性犯罪厳罰化

強姦 非親告罪に

衆院委可決 付則で「3年後見直し」

性犯罪を厳罰化する刑法改正案は7日、衆院法務委員会で全会一致で可決された。強姦罪の法定刑下限を懲役3年から5年に引き上げ、告訴がなくても加害者を起訴できる「非親告罪」化することなどが柱。参院では「非親告罪」の要件を改めたテロ等準備罪を新設する組織犯罪処罰法改正案を巡って与野党の対立が激化しており、刑法改正案が今国会で成立するかは不透明だ。【鈴木一生、飯田憲一】

強姦罪の成立には、恐怖などから暴行や脅迫を受ける程度に「属行または脅迫」の存在が必要とされるが、これは暴行・脅迫要件を緩和する必要性などが指摘されている。相手への摘された。その上で、自

民公明、民進、共産、日本維新の会は「施行後3年をめどに性犯罪の加える」との付則の修

被害者、国会日程に焦り

早期の改正を望んでいた性犯罪被害者たちは残り少ない国会日程に焦りを募らせる。「性別規定がなくなるだけでも、高く評価できる」。被害者は女性、加害者は男性との性差をなくすことを盛り込んだ改正案を20代の時に知人女性が

ら性暴力を受けた文野武入さんは歓迎する。性被害の相談電話で「男性の被害のことは分からない」などと言われた経験から、男性の性被害者の自助グループ「RANKA」を主宰。男性の被害者には泣き寝入りしている人達が多い。「早く成立さ

正案を共同提出し、全会一致で可決された。一方、性犯罪被害者や支援者ら4団体でつくるグループ「刑法性犯罪を変えよう」プロジェクトは7日、改正の早期実現などを求める要請書を約3万筆の署名とともに金田勝年法相に手渡した。

のも強姦罪ではなく、法定刑が軽い児童福祉法違反だった。改正案は、18歳未満

の子に、父母らが影響力に乗じて性交やわいせつ行為をした場合の罰則を新設。女性は被害者の癒やされない傷を考えれば、こうした新設は必要」と方を込める。【山本有紀】

大きな柱「非親告罪化」

強姦罪や強制わいせつ者の脅やライオン罪は、現行の刑法では、保護のため、勝手に捜査被害者が告訴しなければできない仕組みになった。加害者が裁判にかけるとされる。法定時とは、被害者の心づもりも、被害者や殺人のような、被害者の父や夫の意向が働か、非親告罪とは異なる。いたといわれる。

「非親告罪とは異なる。だが、現状は、加害者た理由は、捜査や裁判の側が告訴の取り下げを過剰で被害者周囲に知ら「条件」に示唆を待たれる可能性あり、被害 ちかける」とも少なくない。

専門相談員が電話を受ける「Saveくんま」。関係者の一人は「非親告罪化は重要だが、『事件』になることを恐れて相談をためらう被害者も出てくるかもしれない」とも話す—高崎市で



許さない 性暴力の現場で 刑法改正を前に

2次被害防止へ 変わるべきは社会

い。被害者が心身の損害の補償を受けるには、告訴取り消しが条件のようにならざるを得ない。そこで、国が目指す刑法改正の大きな柱が、性犯罪の非親告罪化だ。県内のある捜査関係者は、この意を強調している。二つへの性的虐待では、母親が、加害者である天や恋人をかばって告訴しづらいケースが多い。そういう場合でも事件化できる。「司法」の観点から期待する声も聞かれる。ある弁護士は、性暴力被害者は「目撃」の割合が「目撃」に落ちたか」と思う人も少なくない。加害者が退屈され、Is Raped(も)は「なかつた」という意味。Hワンストップ支援センターに「Pを兄弟連絡してきた仲間と「RANKA」を作った。被害者が受ける被害で共通しているのが、次

遅れた対応ようやく実現へ

今回の性犯罪厳罰化の動きは、法務省の資料によると、国連の女性差別撤廃委員会は2003年、「強姦罪の厳罰化」と「近親姦の厳罰化」を締約国に要請した。09年には「非親告罪化」も加えた。児童の権利委員会は04年に「暴行・脅迫が無くても強姦罪を適用できる年齢を引き上げ、10年に「被害者の性差撤廃」を勧告。自由権規約委員会も同様の勧告を繰り返した。これを受け、日本では改定されたが、日本では改定された第3次男女共同参画基本計画で「強姦罪の親告主義」が盛り込まれたのを受け、ようやく内閣府で刑法改正に向けた議論が本格化。今年9月に法制審が法相に刑法改正案を答申した。

ただ、被害者の声を支え、サポートする体制が十分とは言えない。もう一歩、「君にも落根強く残る性暴力被害者グループ「RANKA」のメンバー、文野武人さんの「文野武人さん」は初代の時、知人女性から性暴力を受けた。30代になって突然、被害者記憶がよみがえり、PTSD(心的外傷後ストレス)か不安もある。それで

された。来場者数は1年間約14万0000人だった。「米川書」と「書真、盛ん拍手が送られた。第3回「合衆」は大会でついで

「真田丸展」入場15万人突破 沼田
NHK大河ドラマ「真田丸」 15万人突破 沼田
真田丸 入場15万人突破 沼田
NHK大河ドラマ「真田丸」 15万人突破 沼田
真田丸 入場15万人突破 沼田

天気 05 1時 - 晴、時々 5%以上 11時 正午の最高気温 5%未満

沿線 4日 R在来 一日車 場が終 高崎回 駅へ向 列車の この区 両車 運を見 遅れを 運動 待し) 全高 小